履歴プログラムのインストール

お客様に用意していただくもの

●インターネットにつながる環境が必要です。 パソコン・通信用USBハーネスは、お客さまでご用意ください





パソコン(USBポート付)

通信用USBハーネス(A — micro-B)

≪インストールの前に≫
●他のすべてのプログラムを終了させてください。
●セキュリティソフト(アンチウイルスソフト、
ファイアーウォールソフトなど)を一時的に終了
させることを推奨します。
●企業のパソコンにプログラムをインストールする
場合は、システム管理者やセキュリティ管理者に
ご確認ください。

パソコン	・.NET Framework 4.5 以上 ・USB ポート(USB2.0 以上 TypeA) ※注3	OS	Windows10推奨
		ディスプレイ	解像度 1280×720以上

注1)上記要件のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

注2)すべてのパソコンに対して、システムサスペンド、スリープ、ハイバネーションでの動作を保証するものではありません。 注3)セキュリティソフト等によるUSBポートの通信規制や遮断が行われていないこと(不明な場合はシステム管理者もしくは セキュリティ管理者にご確認ください)。

「OPNUS 時計・履歴管理プログラム」のインストール

- ①オプナスホームページ(ダウンロードページ) https://www.opnus.co.jp/support/download/にアクセスし、
 「OPNUS時計履歴管理プログラム.zip」をダウンロードします。(「OPNUS 時計・履歴管理プログラム」はWindows版のみです。)
- ②ダウンロードしたプログラム(zipファイル)をダブルクリックして展開します。 展開した「OPNUS時計履歴管理」フォルダをパソコンの「C:¥Program Files」フォルダ内にコピーしてください。
- ③「C:¥Program Files¥OPNUS時計履歴管理」フォルダを開き「CDM21224_Setup.exe」を実行してください。 (CDM21224_Setup.exe は錠をパソコンに認識させるデバイスドライバです)
- ④「C:¥Program Files¥OPNUS時計履歴管理」フォルダを開き「OPNUS時計履歴管理プログラム.exe」の ショートカットをデスクトップ上に作成してください。 ※ショートカット作成は必須ではありません。



※「OPNUS 時計・履歴管理プログラム」の最新情報と、詳しいインストール方法(インストールマニュアル)は、 https://www.opnus.co.jp/support/download/にアクセスし、ご覧ください。 ※バージョン毎に画面表示やデザイン・機能が変更になる場合があります。ご了承ください。

履歴についての注意事項

- ●本製品やパソコンの不具合により履歴データが保存できなかった場合または履歴データが破損した場合、履歴データの内容の 保証は致しかねます。ご容赦ください。
- ●パソコンの時刻で錠の時刻合わせをおこなっています。パソコンの時刻がずれていると正確な時刻の履歴がとれませんのでご注意ください。
- ●電池交換をしたときは、必ず錠の時刻合わせをおこなってください。
- ●履歴ファイルは、厳重に管理してください。
- ●使用履歴を印刷するときは、マイクロソフト社の表計算ソフトExcelがインストールされているパソコンを使い、 履歴ファイルが保存されているフォルダから直接CSVファイルをひらいてください。
- ●CSVファイルをExcelでひらく場合は、抽出された項目の先頭に「O」があった場合Excel上では「O」が消えて表記されます。 ●5,000件の履歴を抽出するのに約4~5分かかります。
- ●Lock(施錠)の履歴は、扉が閉まってから1分以内に検知して記録します。
- ●無音設定の場合は、履歴抽出カードをかざした時と、履歴抽出完了時のみ音が鳴ります。
- ●履歴の抽出中や時刻の設定中など錠が何かしらの動作を行っている時に扉の開閉を行うと、 施錠・解錠の履歴が正しく保存されない場合があります。

錠の初期設定について

初期設定

 パソコンと錠をUSBハーネスでつなぎます。
 ※錠が自動で起動します。
 ※錠にあるUSBコネクタのシャッターを持ち上げながら、 microUSBの向きに注意して差し込んでください。



②パソコンのデスクトップにある 「OPNUS 時計・履歴管理プログラム」の ショートカットをダブルクリックして プログラムを起動し、メインウインドウを 表示させます。



正常につながるとプログラムに錠時刻が表示されます。



※錠の時刻はパソコンとあっていない場合があります。

③プログラムの「PCの時計に合わせる」ボタンを押します。 時刻合わせが終了するとブザーが「ピピッ」となります。



≪注意≫

時刻合わせ中は、錠のあけしめやUSBハーネスを 抜く等の他の操作は、おこなわないでください。

※以下は音量設定で音がなる場合の説明です。

※「PCの時計に合わせる」ボタンを押したときに 「錠とPCをUSBハーネスで接続してください。」の サブウインドウが表示されたら、USBハーネスの 接続を確認してください。



④プログラム右上の「図」ボタンを押して終了してください。



≪注意≫

パソコンと錠をUSBハーネスでつないでから、 3分間錠の操作をしないと、錠がスリープ モード(LEDの点滅後消灯)になります。

履歴抽出方法

履歴抽出方法

 パソコンと錠をUSBハーネスでつなぎます。
 ※錠が自動で起動します。
 ※錠にあるUSBコネクタのシャッターを持ち上げながら、 microUSBの向きに注意して差し込んでください。

②パソコンのデスクトップにある 「OPNUS 時計・履歴管理プログラム」の ショートカットをダブルクリックして プログラムを起動し、メインウインドウを 表示させます。

正常につながるとプログラムに錠時刻が表示されます。

③「履歴抽出」ボタンを押すとサブウインドウが開きます。

※以下は音量設定で音がなる場合の説明です。

PTLIJ

抜く等の他の操作は、おこなわないでください。

⑥プログラム右上の「⊠」ボタンを押して終了、 もしくは、履歴を閲覧するときは、次ページの②から 操作をおこなってください。

≪注意≫

パソコンと錠をUSBハーネスでつないでから3分間錠の操作をしないと、錠がスリープモード(LEDの点滅後消灯)に なります。履歴抽出後、5秒後に錠がスリープモード(LEDの点滅後消灯)になります。

履歴閲覧について

履歴閲覧方法

 パソコンのデスクトップにある 「OPNUS 時計・履歴管理プログラム」の ショートカットをダブルクリックして プログラムを起動します。

プログラムに履歴ファイルが表示されます。

※履歴ファイルは、錠とパソコンがUSBハーネスでつな がっていても、つながっていなくても閲覧可能です。

※錠IDとは、製品に記録されている識別番号です。

③履歴を見たいファイルを選択して「履歴閲覧」ボタンを 押します。

※履歴ファイルを選択 せずに「履歴閲覧」 ボタンを押すと、 「履歴ファイルを選択 してください。」の サブウインドウが表示 されます。

④サブウインドウが開き履歴を閲覧できます。※履歴保持件数:最大5,000件(古いものから削除)

≪動作表記の意味≫
• OPEN / 通常解錠
・LOCK / 通常施錠
 EOPEN / イレギュラーな解錠 (非常解錠含む) (カード承認がない解錠)
 ELOCK /イレギュラーな施錠 (ロック機構が正しく作動できす 施錠したと判断できないとき)
・R ERR / ICリードエラー (登録されていないカードの検出)
 T ERR / タイムアウトエラー (ICキー承認後、時間内に解錠されなかった) (オート施錠時、ツマミが施錠位置に達しなかった)
• EXP H / 履歴抽出
 ・CHG M / モード設定カード(メンバー) (登録済みICキーの全削除)
・ICREG / ICキー登録
・ICDEL / ICキー削除

⑤履歴の閲覧が終了しましたら、サブウインドウの「OK」 ボタンを押します。

⑥プログラム右上の「図」ボタンを押して終了してください。